



平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月9日

上場会社名 堀田丸正
コード番号 8105 URL <http://www.pearly-marusho.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 太田 功

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 矢部 和秀

TEL 03-3548-8139

四半期報告書提出予定日 平成23年2月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	7,099	2.2	△62	—	△42	—	△61	—
22年3月期第3四半期	6,949	△41.4	△14	—	13	△77.2	△0	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	△1.35	—
22年3月期第3四半期	△0.01	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	6,224	3,321	53.4	72.30
22年3月期	6,023	3,479	57.8	75.79

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 3,321百万円 22年3月期 3,479百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
23年3月期	—	0.00	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,600	1.6	10	—	35	—	10	△72.2	0.22

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 _____）、除外 一社（社名 _____）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年3月期3Q 49,280,697株 22年3月期 49,280,697株

② 期末自己株式数 23年3月期3Q 3,369,220株 22年3月期 3,366,320株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年3月期3Q 45,913,020株 22年3月期3Q 46,033,295株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績等の見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手した情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっては、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	5
(第3四半期連結累計期間)	6
(第3四半期連結会計期間)	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、好調な外需や政府の景気刺激策による企業業績の改善などにより、緩やかな回復基調で推移しました。しかし、雇用や所得の厳しさが続く中で、夏場以降の円高進行やデフレの影響により景気の足踏み状態が続きました。

当衣料業界におきましては、雇用情勢や所得環境は引き続き厳しい状況に加え、猛暑等による気温の不安定な影響から、婦人洋品や寝装品などといった季節性の高い商品の動きが鈍く厳しい状況で推移いたしました。

このような事業環境のもと、昨年6月に全株式を取得し子会社となった丸福商事(株)の売上高が寄与し増収となりましたが、猛暑等による不安定な気候の影響を受け、婦人洋品や寝装品を中心とした販売単価の下落は否めず、売上総利益は低下いたしました。このようなことから、当社グループの当第3四半期連結累計期間は売上高70億99百万円（前年同期比2.2%増）、営業損失は62百万円（前年同期は営業損失14百万円）、経常損失は42百万円（前年同期は経常利益13百万円）、四半期純損失は61百万円（前年同期は四半期純損失0.5百万円）となりました。

和装事業は、個人消費の低迷が続く、専門店等への売上が苦戦し売上高は減少いたしました。また、催事販売等の経費の削減を図りました。この結果、売上高は13億69百万円、セグメント利益は8百万円となりました。

寝装事業は、猛暑等天候不順の影響を受け、量販店を中心に売上が伸び悩み売上高は大幅な減少となりましたが、物流コストの改善や賃借料等の固定費を削減し、売上高は13億72百万円、セグメント利益は21百万円となりました。

洋装事業は、昨年6月に丸福商事(株)が連結子会社となったため売上高は増加となりました。また、販売費等の削減を図り、売上高は32億45百万円、セグメント利益は47百万円となりました。

宝飾・バッグ事業は、和装事業同様個人消費の低迷が続く、専門店等への売上が苦戦したことにより売上高は減少いたしました。この結果、売上高は1億22百万円、セグメント損失は2百万円となりました。

意匠擦糸事業は、国内市場では婦人洋品等の製品市場の低迷から擦糸の需要が落ち込みましたが、中国においては、擦糸の需要が高まり売上高は増加し、売上高は9億90百万円、セグメント利益は43百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は62億24百万円で前連結会計年度末と比べ2億1百万円増加しております。

流動資産は、43億88百万円（前連結会計年度末は49億57百万円）となり、5億69百万円減少いたしました。これは主に、商品及び製品の増加はあったものの、短期貸付金から長期貸付金への振り替えを行い減少したことによるものであります。

固定資産は、18億36百万円（前連結会計年度末は10億65百万円）となり、7億71百万円増加いたしました。これは主に、短期貸付金から長期貸付金への振り替えを行い増加したことによるものであります。

流動負債は、27億44百万円（前連結会計年度末は23億26百万円）となり、4億17百万円増加いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加によるものであります。

固定負債は、1億59百万円（前連結会計年度末は2億16百万円）となり、57百万円減少いたしました。これは主に、長期未払金の減少及び長期借入金の減少があったことによるものであります。

純資産は、33億21百万円（前連結会計年度末34億79百万円）となり、1億58百万円減少いたしました。これは主に、当期純損失及び剰余金の配当があったことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ2億11百万円増加の6億69百万円となっております。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は、3億28百万円（前年同四半期は2億96百万円の増加）となりました。

これは主に、たな卸資産の増加はあったものの仕入債務の増加があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果増加した資金は、29百万円（前年同四半期は1億34百万円の増加）となりました。

これは主に、無形固定資産の取得による支出はあったものの、担保預金の減少、敷金及び貸付金の回収があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は、1億46百万円（前年同四半期は3百万円の増加）となりました。

これは主に、短期、長期借入金の返済及び配当金の支払いによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用、所得環境は緩やかな回復が予想されるものの、個人消費については先行き不透明であると思われます。

このような状況の中、当社グループについては、営業活動に全力をあげるとともに販売経費等の削減に注力し、経営の合理化を図ってまいります。このような状況を踏まえ、平成22年11月10日公表いたしました通期業績の予想数値に変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

第1四半期連結会計期間より「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

なお、国内の事務所等で建物を賃借しており、不動産賃貸借契約に基づき、退去時における原状回復に係る債務を有しておりますが、当該資産に関連する賃借資産の使用期間が明確でなく、現在のところ移転等も予定されていないことから、資産除去債務を合理的に見積もることができません。そのため当該債務に見合う資産除去債務を計上しておりません。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	718,328	527,584
受取手形及び売掛金	2,047,845	2,073,685
商品及び製品	1,453,226	1,391,932
仕掛品	22,646	19,080
原材料及び貯蔵品	90,485	82,319
前払費用	53,254	47,839
短期貸付金	25,395	851,509
未収入金	32,921	35,247
預け金	12,592	14,370
その他	9,303	3,401
貸倒引当金	△77,594	△89,099
流動資産合計	4,388,406	4,957,871
固定資産		
有形固定資産	467,652	473,303
無形固定資産		
のれん	106,111	128,849
その他	31,926	20,282
無形固定資産合計	138,038	149,132
投資その他の資産		
投資有価証券	59,510	62,007
長期貸付金	836,069	31,797
破産更生債権等	402,287	424,636
長期前払費用	54,848	62,921
その他	321,098	322,207
貸倒引当金	△443,177	△460,825
投資その他の資産合計	1,230,637	442,745
固定資産合計	1,836,328	1,065,180
資産合計	6,224,735	6,023,052

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間末
(平成22年12月31日)

前連結会計年度末に係る
要約連結貸借対照表
(平成22年3月31日)

負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,335,379	1,832,920
短期借入金	106,000	120,000
1年内返済予定の長期借入金	52,800	52,800
未払法人税等	17,814	19,906
未払消費税等	3,906	41,716
賞与引当金	1,410	8,550
返品調整引当金	17,884	20,688
その他	209,232	230,410
流動負債合計	2,744,427	2,326,992
固定負債		
長期借入金	44,400	84,000
長期未払金	112,256	128,814
繰延税金負債	2,272	3,218
その他	127	216
固定負債合計	159,056	216,249
負債合計	2,903,484	2,543,241
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,975,070	1,975,070
資本剰余金	273,664	273,664
利益剰余金	1,258,472	1,412,242
自己株式	△187,799	△187,681
株主資本合計	3,319,406	3,473,294
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,880	5,548
為替換算調整勘定	△1,035	967
評価・換算差額等合計	1,844	6,516
純資産合計	3,321,250	3,479,810
負債純資産合計	6,224,735	6,023,052

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	6,949,382	7,099,891
売上原価	4,659,265	4,807,496
売上総利益	2,290,116	2,292,395
販売費及び一般管理費	2,304,311	2,354,625
営業損失(△)	△14,194	△62,230
営業外収益		
受取利息	19,120	17,257
受取配当金	1,446	1,707
受取賃貸料	8,430	6,392
その他	8,564	5,452
営業外収益合計	37,562	30,809
営業外費用		
支払利息	4,048	5,129
為替差損	—	4,340
その他	6,216	1,750
営業外費用合計	10,264	11,220
経常利益又は経常損失(△)	13,103	△42,641
特別利益		
貸倒引当金戻入額	444	5,308
投資有価証券売却益	66	—
特別利益合計	510	5,308
特別損失		
事務所移転費用	—	4,544
廃棄物処理損失	—	5,213
投資有価証券評価損	1,156	—
その他	10	—
特別損失合計	1,167	9,757
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	12,446	△47,090
法人税、住民税及び事業税	12,981	14,857
法人税等合計	12,981	14,857
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△61,947
四半期純損失(△)	△534	△61,947

(第3四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)
売上高	2,794,380	2,618,534
売上原価	1,907,770	1,782,679
売上総利益	886,610	835,854
販売費及び一般管理費	842,650	787,351
営業利益	43,959	48,503
営業外収益		
受取利息	7,199	4,025
受取配当金	572	445
受取賃貸料	2,400	2,100
その他	5,974	1,901
営業外収益合計	16,145	8,471
営業外費用		
支払利息	1,483	1,570
為替差損	3,246	4,543
その他	1,370	440
営業外費用合計	6,099	6,554
経常利益	54,005	50,421
特別利益		
投資有価証券売却益	66	—
特別利益合計	66	—
特別損失		
事務所移転費用	—	2,291
その他	9	—
特別損失合計	9	2,291
税金等調整前四半期純利益	54,062	48,129
法人税、住民税及び事業税	4,368	4,924
法人税等合計	4,368	4,924
少数株主損益調整前四半期純利益	—	43,204
四半期純利益	49,693	43,204

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	12,446	△47,090
減価償却費	10,137	11,394
のれん償却額	15,158	22,738
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△16,599	△29,153
賞与引当金の増減額(△は減少)	△2,309	△7,140
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△2,799	△2,804
受取利息及び受取配当金	△20,567	△18,965
支払利息	2,207	4,269
投資有価証券売却損益(△は益)	△55	—
投資有価証券評価損益(△は益)	1,156	—
売上債権の増減額(△は増加)	△8,622	21,510
たな卸資産の増減額(△は増加)	64,215	△77,485
仕入債務の増減額(△は減少)	225,331	510,213
その他	13,640	△57,813
小計	293,341	329,674
利息及び配当金の受取額	20,207	18,965
利息の支払額	△2,215	△3,323
法人税等の支払額	△15,141	△16,528
営業活動によるキャッシュ・フロー	296,192	328,788
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	500,000	—
担保預金の増減額(△は増加)	—	20,832
有形固定資産の取得による支出	△720	△2,015
無形固定資産の取得による支出	△5,837	△17,280
投資有価証券の取得による支出	△2,275	△1,116
投資有価証券の売却による収入	228	—
事業譲受による支出	△40,815	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△165,174	—
貸付けによる支出	△520,088	△21,241
貸付金の回収による収入	365,759	43,085
敷金の差入による支出	△1,515	△4,898
敷金の回収による収入	5,280	12,197
その他	—	△20
投資活動によるキャッシュ・フロー	134,841	29,541
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△5,000	△14,000
長期借入れによる収入	150,000	—
長期借入金の返済による支出	—	△39,600
自己株式の取得による支出	△6,268	△118
自己株式の処分による収入	16	—
配当金の支払額	△135,337	△92,373
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,411	△146,091
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	△662
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	434,447	211,575
現金及び現金同等物の期首残高	313,649	457,562
現金及び現金同等物の四半期末残高	748,097	669,138

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

前第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

〔事業の種類別セグメント情報〕

	和装事業 (千円)	寝装事業 (千円)	洋装事業 (千円)	宝飾・バッグ 事業 (千円)	意匠撚糸事 業 (千円)	その他事 業 (千円)	計 (千円)	消去又は全 社 (千円)	連結 (千円)
売上高									
(1) 外部顧客に対する売上高	1,467,194	1,600,288	2,824,375	170,263	887,259	—	6,949,382	—	6,949,382
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	2,235	2,235	(2,235)	—
計	1,467,194	1,600,288	2,824,375	170,263	887,259	2,235	6,951,617	(2,235)	6,949,382
営業利益（又は営業損失）	14,583	47,198	79,412	△7,605	17,598	△1,255	149,931	(△164,125)	△14,194

(注) 1. 事業区分の方法

事業は、商品の種類で区分しております。

2. 各区分に属する主要な商品

事業区分	主要な商品
和装事業	留袖、訪問着、振袖、袋帯等の和装品
寝装事業	羽毛・羊毛ふとん、毛布、タオルケット、カバー等の寝装品
洋装事業	ブラウス、ニット、スカート、パンツ、ワンピース、スーツ等の婦人洋品
宝飾・バッグ事業	宝石、貴金属等の指輪、ネックレス等の宝飾品、毛皮、レザー、ハンドバッグ
意匠撚糸事業	リングヤーン、シャギーヤーン、ポーラヤーン、テープヤーン、特殊紡績糸
その他事業	人材派遣

〔所在地別セグメント情報〕

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメントの記載は省略しております。

〔海外売上高〕

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

当第3半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日）

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、取り扱い商品別に事業本部を置き、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、事業本部を基礎とした取り扱い商品別のセグメントから構成されており、「和装事業」「寝装事業」「洋装事業」「宝飾・バッグ事業」「意匠燃糸事業」の5つを報告セグメントとしております。

「和装事業」は、留袖、訪問着、振袖、袋帯等の和装品を卸売販売しております。「寝装事業」は、羽毛、羊毛ふとん、毛布、タオルケット等の寝装品を卸売販売しております。「洋装事業」は、ブラウス、ニット、スカート、パンツ、ワンピース、スーツ等の婦人洋品を卸売販売しております。「宝飾・バッグ事業」は、宝石、貴金属等の指輪、ネックレス等の宝飾品、毛皮、バッグ等の卸売販売をしております。「意匠燃糸事業」は、リングヤーン、シャギーヤーン、ポーラヤーン、殊紡績糸等の製造卸売販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント						その他 (注1) (千円)	合計 (千円)	調整額 (千円)	四半期連 結損益計 算書計上 額 (千円)
	和装事業 (千円)	寝装事業 (千円)	洋装事業 (千円)	宝飾・バ ッグ事業 (千円)	意匠燃糸 事業 (千円)	計 (千円)				
売上高										
(1) 外部顧客に対 する売上高	1,369,785	1,372,013	3,245,441	122,589	990,061	7,099,891	—	7,099,891	—	7,099,891
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	2,269	2,269	△2,269	—
計	1,369,785	1,372,013	3,245,441	122,589	990,061	7,099,891	2,269	7,102,160	△2,269	7,099,891
セグメント利益 (又はセグメント 損失)	8,214	21,186	47,519	△2,892	43,529	117,556	1,105	118,662	△180,892	△62,230

(注) 1. 「その他」区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、人材派遣事業を含んでおりません。

2. セグメント利益の調整額△180,892千円には、セグメント間取引消去△668千円、のれん償却額22,738千円、各報告セグメントに配分していない全社費用157,486千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理部門経費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。